

ゼロから、一人前のイチゴ農家を目指す！

西三河農林水産事務所農業改良普及課

氏名 小出 和成さん

経営類型 イチゴ

市町村 幸田町



小出 和成さん

1. 経営概要

- (1) 経営規模 15 a
- (2) 労働力 家族2人
- (3) 販売 生産部会による共販

2. 就農までの経緯

- (1) 大学卒業後、1年ほどの世界放浪の旅を経て、東京等で外国人に対する日本語講師をしていましたが、事情があつて実家に戻ることになりました。しかし、実家周辺で日本語講師の仕事はなく、どうしようか悩んでいたところ、親戚がいきいきと農業をしているのを思い出し、自分は農家ではありませんでしたが、農業を始めることに決めました。
- (2) 農業を始めることに決め、まずは豊川市のオオバ農家で働きました。そのとき、JAあいち三河がイチゴの新規栽培者を育成する「いちご塾」を始めると聞き、入塾を決めました。いちご塾では1期生として、先輩イチゴ農家で1年間、栽培技術や経営に対する考え方等を学び、令和2年3月に空きハウスを借りて就農しました。

3. 現在の取組

現在、妻と2人でイチゴの高設栽培をしています。失敗も多く、例えば、新しい培土が思うようにかん水で湿らず、部分的に生育が悪くなっていました。1年間、先輩農家にしっかり教えてもらったつもりでしたが、実際に自分で栽培しないと分からないことがたくさんあると実感しています。



4. 今後の抱負

就農1年目のため、まだ目の前の作業をこなすことで精一杯ですが、失敗は反省するも後悔せず、前向きに捉えて、栽培技術を上げていきたいです。将来的には、地域の先輩農家のように栽培面積を拡大し、一人前のイチゴ農家になりたいです。